

ドローン自動航行にも保険 テラドローンと東京海上

2018年5月13日 19:00 [有料会員限定]

ドローン（小型無人機）運行システムを手掛けるテラドローン（東京・渋谷）は東京海上日動火災保険と組み、自動航行などをつかさどる運行管理システム（UTM）向け保険を開発した。産業用ドローンの利用の課題の一つである保険の需要があると判断した。同システムに特化した保険は国内初という。

テラドローンが近く配信するUTMのアプリに、東京海上日動の保険が自動的に付く。UTMは自動航行させる際、ドローン同士やドローンと航空機などがぶつからないよう管理するシステム。対象の保険ではアプリの利用中に第三者の体や物に損害を与え、賠償責任を負う場合に保険金を支払う。保険料はテラドローンが負担する。

これまでのドローン保険では利用者や事業主が個別に加入していた。UTMに自動的に保険が付く仕組みを作り、利用者がドローンを利用しやすくする。



ドローンは測量や調査などに利用されている

関連キーワード: テラドローン 東京海上ホールディングス 東京海上日動火災保険 UTM 保険料